

ごみ減量推進員会議を開催しました。

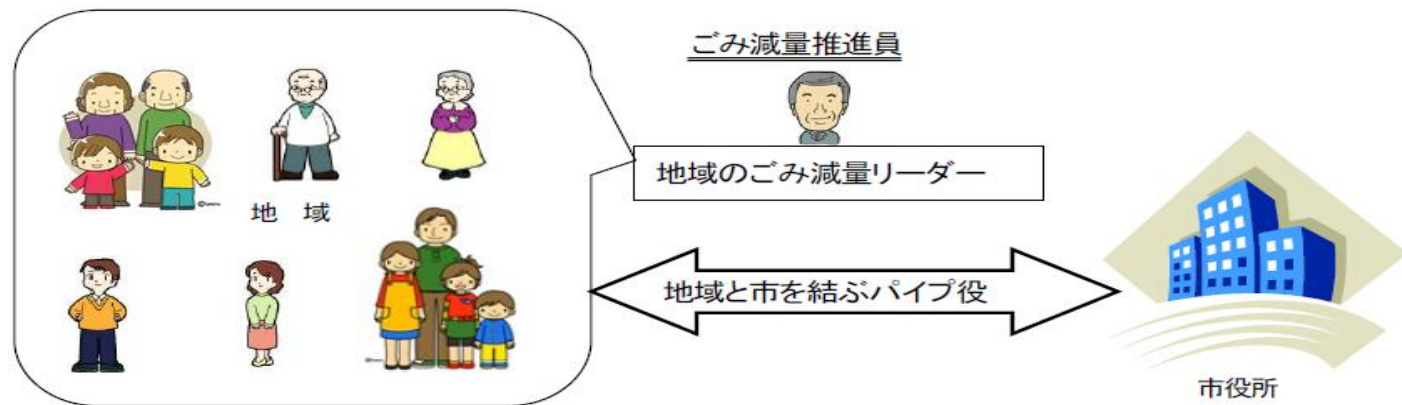


令和7年5月17日（土曜日）に、ごみ減量推進員会議を文化会館で開催しました。

会議当日は、環境美化推進委員と合わせて107名の方に参加いただき、推進員の活動内容等を説明しました。

★そもそも「ごみ減量推進委員」とは

ごみ減量推進員は、正式名称を廃棄物減量等推進員といい、市における一般廃棄物の減量化対策を実効あるものとするを目的に、平成3年の廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正により創設されたものです。本市では、流山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例に基づき、各地域からの推薦により、1「地域と市を結ぶパイプ役」、2「地域のごみ減量リーダー」として委嘱しています。



イラストの出典：いらすとや、経済産業省ウェブサイトごみイラスト素材集

自治会に伴うごみについて

自治会活動に伴うごみの分別・処理方法についての詳細は、下記二次元コード又は市ホームページ（ホームページ番号：1045586）よりご確認ください。

夏祭りなどの自治会で開催するイベントで出るごみは、イベントの規模や内容で大きく異なります。イベントの開催を計画している自治会は、計画・準備段階において、お気軽にご相談ください。



—ごみで地域をくるとつなぐ—

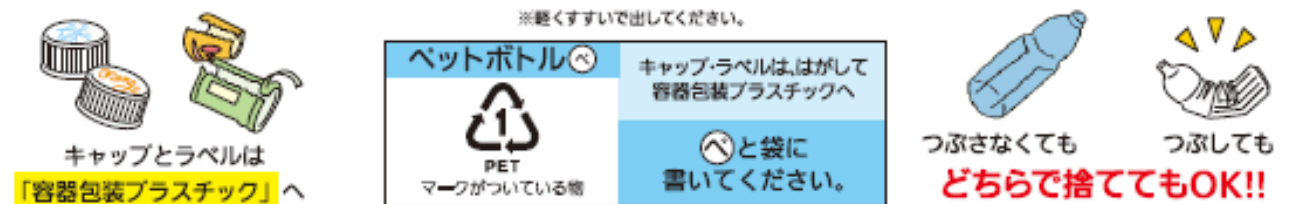
ケロクル通信

令和7年度（前期）
編集発行：流山市環境部
クリーンセンター
TEL 7157-7411/FAX 7150-8070
seisou@city.nagareyama.chiba.jp

ペットボトルの収集について

令和6年4月1日からペットボトルをつぶしても収集ができるようになりました。キャップとラベルをはがし、中をすすぎ、中身が確認できる、透明性のあるビニール袋に入れて排出してください。

ペットボトルをつぶしても収集できるようになりました。



小型充電式電池を使用した製品の捨て方について

リチウムイオン電池などの小型充電式電池の出し方に注意を呼び掛けています。誤った出し方によって、収集・運搬、または処分する過程において過度な力が加わることで火災となる恐れがあります。そのため、捨て方については、市ホームページ（ホームページ番号 1029052）や下記を参考にいただき適正な処理をお願いします。

また、電池が取り外せる小型家電は、電池を回収協力店へお持ちいただくようお願いします。回収協力店については、一般社団法人 JBRC ホームページからご確認ください。また、膨張したリチウムイオン電池等については、出火する事例もあることから、ごみ集積所には出さず、クリーンセンターに直接お持ちいただくようお願いします。その際は10キログラム毎に300円の手数料がかかります。



ごみ減量化促進ポスターの展示について

環境学習の一環として市内小学校の4年生を対象に「ごみの減量・資源化」をテーマとした作品の募集をし、ポスターコンクールを開催します。

令和6年度は144点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作10点を選出し、最優秀賞者・優秀賞者について市長表彰を行いました。

令和7年度も入賞作品（最優秀賞、優秀賞、佳作の計13点）を南流山センター、初石公民館、キッコーマンアリーナで展示予定となっておりますので是非ご覧ください。



～展示スケジュール～

開催場所	開催日時
南流山センター	10月24日（金）13:00～
	10月31日（金）13:00
初石公民館	11月10日（月）13:00～
	11月14日（金）13:00
キッコーマンアリーナ	11月17日（月）13:00～
	11月25日（火）13:00

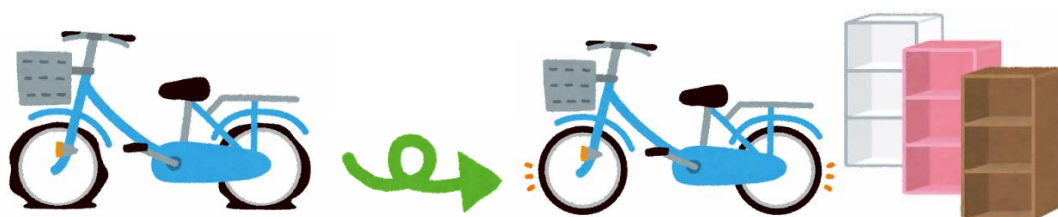
再生家具・再生自転車の販売について

リサイクルプラザ・プラザ館では、各家庭から出された粗大ごみの中から、まだまだ使える家具と自転車を修理・再生し安価で販売しています。

再生自転車は、市内在住在勤在学の方を対象に、奇数月（1、3、5、7、9、11月）の15日～29日（日曜・祝日除く）を申込み期間とし、翌月に抽選販売しています。毎回好評を得ていますので是非一度、ご覧ください。

再生家具は、随時、販売中です。クリーンセンターのリサイクルプラザ・プラザ館までお越しください。

いずれも運搬は購入者ご自身で行う必要があります。



ホームページ番号：1002487

ごみの減量・資源化について

1. ごみの減量について

令和4年度に指定ごみ袋を導入して以降、皆様のごみ減量意識が高まり、ごみ発生量が減少しています。

市民の方々の適切な分別や3Rを意識して取り組んでいただくことで流山市のごみの減量・資源化につながっています。

今後とも指定ごみ袋の利用と、適切な分別にご協力いただけるようよろしくお願いいたします。

	R02	R03	R04	R05	R06
人口（住民基本台帳人口・年度末）（人）	201,284	205,439	209,237	211,097	213,118
生活系ごみ年間発生量（t）	37,033	36,602	35,674	35,036	35,031
1人1日あたり生活系ごみ発生量（g）	504	488	467	453	450

2. 3Rについて

3Rとは、①リデュース（発生抑制）②リユース（再使用）③リサイクル（再資源化）の頭文字を取った3つの行動の総称です。環境省を主に取り組みが進められています。

ごみの焼却やごみの運搬時に排出される二酸化炭素などが地球温暖化の原因の一つとなっており、ごみの減量・資源化が環境問題の解決に繋がっていきます。

①リデュース ～ものを大切に使い、ごみを減らすこと～

- ・ 不必要なものは、買わない、もらわない
- ・ お買い物にはマイバッグを持参する
- ・ 食品ロスを減らす（ホームページ番号：1037503）
- ・ 生ごみを肥料化する（ホームページ番号：1034406）

②リユース ～使えるものは繰り返し使うこと～

- ・ 詰め替え用の製品を選ぶ
- ・ いらなくなったものを譲り合う

③リサイクル ～ごみを資源として、再び利用すること～

- ・ ごみを正しく分別する
- ・ 地域のリサイクル活動に協力する
- ・ リサイクル推進店を利用する（ホームページ番号：1002493）

